

記録・報道/障害関係 (DA)

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-005	きらっといきる マンガで伝えたい ろうの世界 ～聴覚障害・松谷琢也さん～	NHK	29	2010/2/12
利用区分				
B-3	奈良県に住む松谷琢也さんは生まれたときから耳が聞こえない。松谷さんは日々の生活の中で感じているろう者と聞こえる人との文化の違いをマンガでユーモアたっぷりに描く。松谷さんの伝えたいろう者の世界とは・・・。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-006	きらっといきる いつも手と手をつないで ～全盲ろう 山口隆雄さん・幸子さん夫婦～	NHK	29	2010/7/2
利用区分				
B-3	目が見えず耳も聞こえない全盲ろうの山口孝雄さんと妻の幸子さん。会話は互いに手と手を取り合って行う触手話という方法で行っている。手と手で絆を深め、毎日をいきいきと過ごす夫婦の姿を紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-007	福祉ネットワーク 105歳 最期の日々をわが家で ～香川 在宅ケアへの挑戦～	NHK	29	2010/2/24
利用区分				
B-3	香川県に暮らす105歳の小佐古シケノさんは、自宅で家族に見守られながら亡くなった。シケノさんの唯一の同居人の息子・浩さんも病気を患っていたが、町の診療所の医師やヘルパーに支えられ母親の最期をみとることができた。シケノさんが亡くなるまでの生活を追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-008	福祉ネットワーク この人と福祉を語ろう わたしと難聴と京都の関係 エッセイスト麻生圭子さん	NHK	29	2010/3/8
利用区分				
B-3	香川県に暮らす105歳の小佐古シケノさんは、自宅で家族に見守られながら亡くなった。シケノさんの唯一の同居人の息子・浩さんも病気を患っていたが、町の診療所の医師やヘルパーに支えられ母親の最期をみとることができた。シケノさんが亡くなるまでの生活を追う。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-009	福祉ネットワーク シリーズ 支援が必要な子どもたちへの教育 第1回 “インクルーシブ” な教育	NHK	29	2010/6/9
利用区分				
B-3	2006年に国連で採択された障害者権利条約。この条約の批准に向けて、国内でさまざまな取り組みが始まっている。インクルーシブな教育とは、障害者が自分が住む地域で、健常者と共に教育を受けること。長野県中野市の取り組みを紹介しながら、障害を持つ子供たちへの教育について考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-010	福祉ネットワーク “盲ろう者” 生きる意欲につながる支援	NHK	29	2010/9/6
利用区分				
B-3	2009年、東京に全国初の盲ろう者支援センターが開設した。全国に2万人といわれる盲ろう者に対して触手話などのコミュニケーション訓練をはじめ、調理などの生活訓練も行い、盲ろう者の自立や社会参加を広げることがと期待されている。孤立して暮らす盲ろう者の実態を調査し、適切な支援につなげていく試みを進めるセンターの活動を紹介します。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-011	福祉ネットワーク 公開すこやか長寿 太極拳に学ぶ・柔らかな足腰の動き	NHK	29	2010/9/16
利用区分				
B-3	栃木県那珂川町から、高齢者と学ぶ健康体操教室を送る。テーマは太極拳。深い呼吸とゆったりした動きの太極拳は、高齢者にもできる健康づくりだ。「調心」「調息」「調身」をキーワードに、すぐできる簡単なプログラムを紹介する。講師は日本健康太極拳協会の皆さん。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-012	ろうを生きる難聴を生きる サーキットに夢を託して～4時間耐久レースに 挑む聞こえないライダーたち～	NHK	15	2009/10/4
利用区分				
B-3	全国のライダーたちにとってあこがれの舞台とも言える鈴鹿サーキットで、聴覚障害者で組織されたチームが注目を集めている。 メンバーは西尾政紀さんを中心とする近畿一円に住む約10人。彼らをひきつけるのは「風を切る快感」。当初は聴覚障害者の出場は危険と参加を渋る主催者と粘り強く交渉し、ようやく挑戦が実現した。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-013	ろうを生きる難聴を生きる デフアートに希望を託して	NHK	15	2009/10/18
利用区分				
B-3	乗富秀人さんは手話をモチーフに手を描き続ける画家。ろう学校専攻科でデザインを学んだ後フランスの美術専門学校で油絵を学んだ。帰国後は風景画家として絵を描き続け受賞歴も多い。そんな乗富さんが5年ほど前に風景画をぴたりと止め、みずから「デフアート」と位置づけて「手」を描き続けるようになる。作品を通して、そこに込められたメッセージを紹介していく。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-014	ろうを生きる難聴を生きる 第2言語・日本手話 ～関西学院大学の“挑戦”～	NHK	15	2009/11/1
利用区分				
B-3	関西学院大学人間福祉学部では去年から「日本手話」を第2外国語科目とした。全国初のこの試みがほかの大学にも波及すれば、言語としての手話の認知、ひいては社会での手話のさらなる普及にむけて追い風になると期待されている。大学の試みを紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-015	ろうを生きる難聴を生きる 新宿居酒屋店主 ～ど根性10年の歩み～	NHK	15	2009/11/15
利用区分				
B-3	東京新宿で10年前にろうの男性が開いた居酒屋が今も満員盛況の毎日が続く。店主は吉岡富佐佐さん。10年続いた最大の理由は、聞こえない人だけでなく聞こえる人も大勢店に通い続けたことである。接客術、料理へのこだわり、店の雰囲気作り…「10年」の秘密に迫る。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-016	ろうを生きる難聴を生きる 人工内耳・心のケア ～「遊びクラブ」が目指すもの～	NHK	15	2009/11/29
利用区分				
B-3	人工内耳は音の情報を電気信号に変え直接脳の聴神経を司る部分に送ることで聞こえを得る治療法である。しかし、期待された効果がなかなか出ないケースもあるなど治療結果には個人差が大きいことも浮き彫りになってきた。 こうした中で重要性が指摘されているのがメンタル面のサポート、それも同じ悩みを知る人同士の自助活動が大きな力になる。人工内耳治療のメンタルサポートの重要性について考える。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-017	ろうを生きる難聴を生きる 情報保障の可能性を広げよう ～字幕付与技術シンポジウム2009から～	NHK	15	2009/12/13
利用区分				
B-3	京都大学学術情報メディアセンターが主催して開催された「聴覚障害者のための字幕付与技術」シンポジウム2009。 注目を集めた技術のひとつが、携帯ゲーム機や携帯電話に字幕を提供する技術。また、会場では、学術情報メディアセンターの河原達也教授たちが開発している自動音声認識システムJuliusを使ってリアルタイムで字幕を制作する実演も行われた。このふたつの技術を中心に、字幕付与技術の最新情報を伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-018	ろうを生きる難聴を生きる 今医療手話を考える	NHK	15	2009/12/27
利用区分				
B-3	全日本ろうあ連盟は今月「医療の手話シリーズ・第3巻 保健指導編」を出版した。連盟ではこれまで医療関係者も交えた制作委員会を作り病気や治療法に関係した手話表現の制作に当たってきたが、これでそうした手話がほぼ完成したことになる。 医療関係者、聞こえない人は「医療手話」とどう向き合ったらよいのか考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-019	ろうを生きる難聴を生きる 今震災体験を語る ～永江真樹さん～	NHK	15	2010/1/10
利用区分				
B-3	神戸市に住む永江真樹さんは15年前の阪神大震災を経験、その体験記をこのほど出版した。 「阪神大震災・聴覚障害を持つ主婦の体験」は永江さんが一家四人で体験した震災と避難生活をつづったものである。被災時に聴覚障害者がどんな体験に直面したか、改めて検証する。。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-020	ろうを生きる難聴を生きる 意外に多い！？ ろう者と聴者 日本語のズレ	NHK	15	2010/1/24
利用区分				
B-3	「手話と音声言語」というコミュニケーション手段の違いから意志疎通に困難を生じる健聴者と聴覚障害者だが、微妙なニュアンスの違いからも、さまざまなトラブル、誤解が発生する。 そうした用例を集めた本、「ろう者のトリセツ聴者のトリセツ～ろう者と聴者の言葉のズレ～」が出版された。数々の日本語の解釈のズレを実例に、互いをよく理解するためにどうしたら良いのか考える。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-021	ろうを生きる難聴を生きる ぼくと“おしゃべり”をしようよ イラストレーター・門秀彦さん	NHK	15	2010/2/7
利用区分				
B-3	<p>門秀彦さんはイラストレーターとして活躍するコーダ（聴覚障害の両親を持つ健聴の子ども）。手話を表す手をモチーフにした作品を描き続けてきた。</p> <p>門さんが今力を入れるのが絵の持つ「発信力」に聞こえない子どもたちにも気づいてもらい、描く楽しさを知ってもらうこと。描くことで周囲とかかわる自信をはぐくんでもらい成長してほしいと願う。</p> <p>親の障害をみずからの創作エネルギーに変え、作品作りに取り組む、その姿を追う。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-022	ろうを生きる難聴を生きる 夢は七大陸最高峰制覇 ～大窪康之さん～	NHK	15	2010/2/21
利用区分				
B-3	<p>大窪康之さんは七大陸の最高峰制覇に挑戦中のろう者。大窪さんはこれまでアフリカ最高峰キリマンジャロ（5895メートル）、オーストラリア最高峰コジアスコ（2232メートル）、南極最高峰ピンソンマシフ（4897メートル）の登頂に成功しており、今回南米最高峰のアコンカグア（6960メートル）の登頂に成功した。</p> <p>アコンカグアで直面した困難、そしてチョモランマへの思いを聞く。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-023	ろうを生きる難聴を生きる 「手話で笑いを届けたい」 ～2人で挑んだ創作手話落語～1	NHK	15	2010/3/7
利用区分				
B-3	<p>手話落語研究会「笑草会」（埼玉県草加市）は結成20年を迎え2月28日に記念公演を行った。代表の飯田勝巳さんはこれまでの集大成ともなる本格的な創作手話落語に挑む。強力な助っ人として台本（ネタ）の作成に取り組むのは、かつて多くのお笑い番組の脚本作りを手がけた中途失聴者の宮田和実さん。</p> <p>聞こえない人による、聞こえない人のための本格的創作落語にかける2人の姿を追う。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-024	ろうを生きる難聴を生きる 「手話で笑いを届けたい」 ～2人で挑んだ創作手話落語～2	NHK	15	2010/3/14
利用区分				
B-3	<p>手話落語研究会「笑草会」（埼玉県草加市）が開催した、20周年記念公演のダイジェスト。宮田和実さんの作った創作落語「聾訪（ろうぼう）」を、「笑草会」代表の飯田勝巳さんが演じる。</p>			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-025	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえる人とのかけ橋に	NHK	15	2010/4/4
利用区分				
B-3	2010年3月、新潟市で「しゅわる映画祭」が開かれた。聞こえない人も聞こえる人もともに同じ映画を楽しんでもらい、手話に関心を持ち手話を使う（しゅわる）人を増やすことを目的にした映画祭だ。 映画祭を企画したのは、手話の普及をめざして活動する団体・手話レクチャー「ハンズ」。代表の小池卓さんが映画祭の運営委員長を務める。「聞こえない人と聞こえる人のかけ橋になりたい」と願う小池さんに、その思いを伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-026	ろうを生きる難聴を生きる 必要な人に必要なサービスを ～障がい者制度改革推進会議～	NHK	15	2010/4/18
利用区分				
B-3	総理大臣を本部長として設置された「障がい者制度改革推進本部」の下部組織、「障がい者制度改革推進会議」が、2010年1月からスタートした。障害のある当事者や有識者が参加して、障害者基本法の改正や、あらたな総合福祉法（仮称）の制定などに向けて議論を進めている。会議の構成員の1人、全難聴常務理事の新谷友良さんに、障がい者制度改革推進会議における議論について解説していただく。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-027	ろうを生きる難聴を生きる “盲ろう者” 生きる意欲につながる支援	NHK	15	2010/5/2
利用区分				
B-3	2009年5月、盲ろう者の自立や社会参加の支援を目的に、東京都盲ろう者支援センターが開設された。東京都の補助を受けてNPO法人東京盲ろう者友の会が運営するもので、全国初めての取り組みだ。センターでは、料理、スピーチ、ウォーキングなどを通して、家に閉じこもりがちな人たちの社会参加を促進する事業を実施している。開設1年の東京都盲ろう者支援センターの取り組みを通して、盲ろう者を支援するサービスのありかたを考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-028	ろうを生きる難聴を生きる 電話リレーサービス普及のために	NHK	15	2010/5/16
利用区分				
B-3	電話リレーサービスは、聞こえない人と聞こえる人がリアルタイムで会話することを可能にするサービス。聞こえない人は、パソコン上で文字を打ったり、テレビ電話で手話で話す。それを見たオペレーターが、聞こえる人に電話をして内容を音声で伝える。逆に聞こえる人の音声は、オペレーターが文字や手話で伝える。 電話リレーサービスの便利さを紹介しながら、普及させるための道筋を考える。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-029	ろうを生きる難聴を生きる 発達障害をあわせ持つ子への支援	NHK	15	2010/5/30
利用区分				
B-3	<p>ろう学校に通う子どもの「発達障害」が注目されはじめた。補聴器が進歩したり手話が積極的に活用されても、「ことばの学習に困難がある」「集中が続かない」「人の気持ちを推測できない」といった特性を持つ子どもたちがいることが、わかってきたのだ。</p> <p>そんな中、東京学芸大学准教授の濱田豊彦さんが実施する「学習支援ダンボ」の取り組みが注目されている。発達障害をあわせ持つ子どもの教育支援の研究と実践についてレポートする。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-030	ろうを生きる難聴を生きる 情報・コミュニケーションを保障する 制度改革を	NHK	15	2010/6/13
利用区分				
B-3	<p>障害者にかかわる制度の抜本的な改革をめざして議論が続く、内閣府の障がい者制度改革推進会議。重要なテーマのひとつが「情報・コミュニケーション保障」だ。日本が批准をめざす障害者権利条約をふまえた新しい法制度を、障害者自身が提案、実現しようとしている。</p> <p>情報・コミュニケーション保障を実現する制度改革についての、全日本ろうあ連盟の考え方を聞く。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-031	ろうを生きる難聴を生きる 日本ろう者劇団 30年の軌跡	NHK	15	2010/6/27
利用区分				
B-3	<p>ろう者演劇をけん引し続けてきた「日本ろう者劇団」は、今年、誕生して30周年を迎えた。</p> <p>1980年4月、演劇の好きなろう者が集まり「東京ろう演劇サークル」を設立。その後、トット基金の付帯劇団となり、日本ろう者劇団と改称し、発展してきた。</p> <p>日本ろう者劇団は、どのような足跡を残してきたのか、これから何を始めようとしているのか、過去の公演の映像を交えながら、劇団の米内山明宏さんと井崎哲也さんに聞く。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-032	ろうを生きる難聴を生きる ソーシャルワークを普及させよう	NHK	15	2010/7/11
利用区分				
B-3	<p>聴覚障害のある人の生活の質を高めるために注目され始めたのが、専門家によるソーシャルワークだ。本人が抱える問題を整理し、使える制度を利用し周囲にも働きかけて、本人が職場や地域で力を発揮しやすいようにする。東京聴覚障害者自立支援センターの相談支援員の矢野耕二さんは、聴覚障害者が働く職場に出かけて障害者が働きやすい職場を作ったり、ろう学校に出かけて生徒の相談に乗ったりしている。ソーシャルワークの実際を紹介しながら、ソーシャルワークの重要性や普及への道筋、課題について聞く。</p>			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-033	ろうを生きる難聴を生きる ピアノが好き! ~調樹里杏さん~	NHK	15	2010/7/25
利用区分				
B-3	聞こえなくても、ピアノを弾くのが楽しくてしかたがない! そう語るのは、神奈川県に住む調樹里杏(しらべ じゅりあ)さん。仕事や子育てと格闘しながら、毎日、自宅のピアノに向かう。 調さんがピアノを弾く楽しみは、響き。聞く人に感動してもらえる演奏をしたいと、自分では確認しづらいことをピアノの先生に教えてもらいながら、練習に取り組んでいる。大好きなピアノに一生懸命に向き合う調樹里杏さんを追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-034	ろうを生きる難聴を生きる お便りにこたえて	NHK	15	2010/8/8
利用区分				
B-3	番組に寄せられたお便りをもとに、3つの話題を取り上げる。 (1) 読話学習会…東京都八王子市が開催している読話学習会の様子を紹介する。 (2) ろう女性史講演会…大槻芳子さんを講師に迎えて開催された、「ろう女性史講演会」の様子を紹介する。 (3) 人工内耳の聞こえ…虎の門病院(東京都港区)耳鼻咽喉科の医師と患者さんの話を紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-035	ろうを生きる難聴を生きる いつも前向きに ~大槻芳子さん~	NHK	15	2010/9/5
利用区分				
B-3	大槻さんは、1942年新潟県に生まれ7歳で失聴した。大槻さんの名前が広く知られるようになったきっかけは、手話の魅力を多くの人に知ってもらおうと、40代になって始めた手話パフォーマンスと講演のステージ活動だ。さらに50歳を過ぎてからは、全日本ろうあ連盟本部事務所長として活躍した。70歳近くになった今も前向きな生き方は変わっていない。 番組では、ろう女性史編さんプロジェクト代表の長野留美子さんが、大槻さんの生き方を聞く。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-036	ろうを生きる難聴を生きる ユニバーサルデザインを考える	NHK	15	2010/9/19
利用区分				
B-3	東京国際空港の新ターミナルをユニバーサルデザインとするため、東京国際空港ターミナル株式会社は2年3か月をかけて障害のある当事者や専門家をUD委員に任命し、検討を続けてきた。議論したテーマは、トイレ、サイン、地図、エレベーター、人的対応など多岐にわたる。 番組では、UD委員会による新ターミナルの模擬利用の様相を紹介しながら、ユニバーサルデザインの成果と課題を伝える。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-001	JNNルポルタージュ 光と音を失った女子大生 -絶望から希望への記録-	TBS	25	2013/7/28
利用区分				
B-3	<p>大学生の荒美有紀さんは、視覚と聴覚の重複障害者である「盲ろう者」。</p> <p>美有紀さんは、難病を患い、2年前に視覚と聴覚を失ったが、点字を猛勉強し大学に復学。</p> <p>一方で、30年間、全くサポートを得られなかった盲ろうの男性もいた。彼の人生には情報を受けることも発信することもできない盲ろう者の困難さと支援の難しさがあった。2人の経験から盲ろう者に対する支援のあり方を考える。</p> <p>(字幕・手話付き 選択可能) 手話表現者：小野寺善子</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-002	ろうを生きる難聴を生きる “たま手ばこ”の紙芝居1 マボロシノハナ	NHK	15	2012/9/30
利用区分				
B-3	<p>「たま手ばこ」は、ろう者の那須善子さんと、聞こえる樋口澄江さん・小泉京子さんの3人が作る、紙芝居と手話語りのグループ。各地のろう学校やイベントに招かれて、公演を続けている。この「たま手ばこ」の公演を2回にわたって紹介する。</p> <p>演目は「マボロシノハナ」。好奇心旺盛な子どもクロとマシロは、ある日大きな川を渡って向こう岸に行く。親から「行ってはいけない」と言われていた場所だ。そこには楽しいことがいっぱいあったが、食いしん坊のマシロが毒草を食べてしまい…。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-003	ろうを生きる難聴を生きる “たま手ばこ”の紙芝居2 ユメノシマ	NHK	15	2012/10/7
利用区分				
B-3	<p>紙芝居と手話語りのグループ「たま手ばこ」の公演を、前回に引き続き紹介する。</p> <p>今回の演目は「ユメノシマ」。好奇心旺盛な子ども、クロとマシロはある日、洞窟に入った。親から「行ってはいけない」と言われていた場所だ。2人は、そこで出会った海賊船の船長と、ともにユメノシマに出かける。ユメノシマは、甘いお菓子でできた島だった。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-004	ろうを生きる難聴を生きる 途上国の障害者とともに ～アジア経済研究所 森壮也さん～ 前編	NHK	15	2012/10/14
利用区分				
B-3	<p>途上国の障害者の生活を向上させるためには、調査による実態把握と研究が欠かせない。その研究者の1人が、ろう者の森壮也さんだ。森さんは、日本貿易振興機構「アジア経済研究所」主任研究員として、「障害と開発」の分野で10年間、調査・研究を続けている。その森さんに2回にわたって話を聞く。前編は、途上国で障害のある人の生活を障害のない人の生活と同じように改善していくために必要となる「障害と開発」の視点について伺う。</p>			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-005	ろうを生きる難聴を生きる 途上国の障害者とともに ～アジア経済研究所 森壮也さん～ 後編	NHK	15	2012/10/21
利用区分				
B-3	途上国の障害者の生活を向上させるため現地調査を続ける森壮也さんに、前回に引き続き話を聞く。 後編は、森さんたちが2007年から始めたフィリピンの障害者の生計調査から浮かび上がった障害者の深刻な生活実態や、途上国における障害当事者団体の役割、これからの国際協力について伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-006	ろうを生きる難聴を生きる “海の魅力を伝えたい” 水族館学芸員 長谷部阿由美さん	NHK	15	2012/10/28
利用区分				
B-3	難聴者の長谷部阿由美（はせべ・あゆみ）さんは、静岡県にある東海大学海洋科学博物館の学芸員。大学で海の生物について学び、「多くの人に海の魅力を伝えたい」と水族館に就職した。 魚たちの泳ぎ方チェックや水槽掃除、餌やりなどの日々の業務や、小中学校の体験学習案内など、水族館の仕事に励む長谷部さんの一日を追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-007	ろうを生きる難聴を生きる 地域のろう者に寄り添って ～NPO法人にいまーる1～	NHK	15	2012/11/11
利用区分				
B-3	新潟市のNPO法人「にいまーる」は、ろう者の就労支援と手話の普及に取り組んでいる。その運営に中心となって取り組むのは、ろう者の臼井千恵さん。 臼井さんは、地域活動支援センター「手楽来家（てらこや）」をオープンさせた。「手楽来家」は、聞こえない人たちの就労支援に取り組む。中でも宅配便の会社から受注するメール便の配達は今現在300通にのぼる。聞こえない人たちの仕事ぶりや支援を行うスタッフの活動を紹介します。2回シリーズの1回目。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-008	ろうを生きる難聴を生きる 築け！健聴者とのネットワーク ～NPO法人にいまーる2～	NHK	15	2012/11/18
利用区分				
B-3	新潟市のNPO法人「にいまーる」の活動を、前回に引き続き紹介する。 「にいまーる」の臼井さんは、新潟大学手話サークルや新潟市郊外の公民館での地元手話サークル会員への手話指導や、新潟市のビジネス専門学校で手話の講義を受け持っている。 ビジネス専門学校では、去年から手話のスピーチ大会が秋に行われるようになった。大会に向け、出場する学生への指導にあたる臼井さんの姿を追い大会のもようを紹介する。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-009	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえない学生が大学で学ぶために1 情報保障	NHK	15	2012/11/25
利用区分				
B-3	聴覚障害のある学生のために情報保障を行う大学はしだいに増えてきているが、情報保障の量や質はさまざま。 群馬大学を例に、2人のテイカーが連携して入力し教員の話のほとんどを文字化しようというパソコンテイク、講義のライブ感まで伝えられる手話通訳、聴覚障害のある学生に的確にアドバイスできる支援室などのとりくみを紹介し、情報保障のありかたについて考える。2回シリーズの1回目。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-010	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえない学生が大学で学ぶために2 エンパワメント	NHK	15	2012/12/2
利用区分				
B-3	エンパワメントとは、学生自身が「問題を解決する方法を考え、環境を変えていく力」を高めていくこと。大学の情報保障を充実させるためにも、社会に出て働く準備をする上でも、大学在学中のエンパワメントの機会が重要だと言われる。 宮城教育大学で開かれた「聴覚障害学生エンパワメント研修会」に密着、情報保障と並んで大切なエンパワメントについて考える。2回シリーズの2回目。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-011	ろうを生きる難聴を生きる ろう重複の子どもを地域で育てる ～NPO法人“つくし”1～	NHK	15	2012/12/9
利用区分				
B-3	愛知県内で6つの事業所を運営するNPO法人「つくし」は、ろう重複障害のある大人の支援とともに、学齢期の子どもの支援を行っている。 「つくし」の事業所のひとつ「おれんじ」では、手話のできるスタッフが、ろう学校への通学や、子どもの土日の外出に付き添う。「おれんじ」の活動を通して、ろう重複の子どもに対する移動支援の意義を伝える。2回シリーズの1回目。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-012	ろうを生きる難聴を生きる ろう重複の子どもを地域で育てる ～NPO法人“つくし”2～	NHK	15	2012/12/16
利用区分				
B-3	NPO法人「つくし」の事業所のうち、ろう重複の子どもの放課後支援を行うのが、名古屋市の「つくしっこ」と豊橋市の「楓（かえで）」。放課後や土日の「活動の場」を提供する取り組みだ。友だちと自由に遊ぶ、友だちや職員の手話に触れる、そうしたことのひとつひとつが、ろう重複の子どもの成長につながっていく。「楓」の活動を通して、ろう重複の子どもに対する放課後等、デイサービスの意義を伝える。2回シリーズの2回目。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-013	ろうを生きる難聴を生きる 全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 埼玉	NHK	15	2012/12/23
利用区分				
B-3	さいたま市で開かれた「第18回全国中途失聴者・難聴者福祉大会」。 制度改革、メンタルヘルス、補聴の工夫など、さまざまなテーマについて話し合う分科会と、全体会が行われた。 ニーズはあるのに福祉サービスを受けられない「中軽度難聴」の人への支援について考えた「制度改革分科会」（障害の範囲とデシベルダウン運動）を中心に、この大会を紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-014	ろうを生きる難聴を生きる 写真家1 鉄道の輝きを 持田昭俊さん	NHK	15	2013/1/20
利用区分				
B-3	ろう者の持田昭俊さんは、2012年でプロ活動25周年となるベテランのカメラマンだ。 持田さんは、光と影をたくみに表現したSLの写真で知られているが、それと並んで多くのファンを魅了しているのが新幹線の写真。スピード感とフォルムの美しさを表現するために、これまでさまざまな工夫を重ねてきた。持田さんの撮影の様子を紹介しながら、鉄道写真へのこだわりを聞く。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-015	ろうを生きる難聴を生きる 写真家2 その人らしさを 齋藤陽道さん	NHK	15	2013/1/27
利用区分				
B-3	ろう者の齋藤陽道さんは、新人写真家の発掘をする「写真新世紀」で優秀賞を取るなど、注目される若手カメラマンの1人。1年前に出版された写真集「感動」が評判を呼んでいる。 「感動」には障害のある人やお年寄りの写真が並び、「その人でしかありえない日常」が描かれている。視覚障害のある太鼓奏者を撮影する様子を紹介しながら、人物写真へのこだわりを聞く。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-016	ろうを生きる難聴を生きる 聴導犬のいる暮らし(1) 安心がそこにある 東彩さんと“あみのすけ”	NHK	15	2013/2/17
利用区分				
B-3	東彩（あずま・あや）さんは、京都生まれ。 10年前に結婚し、夫の転勤で埼玉県へ引っ越してきた。周りの人がいろいろと教えてくれたそれまでと違い孤独感が強く、また聞こえないことから仕事もうまくいかず、聴導犬を利用することにした。 聴導犬「あみのすけ」は彩さんに、チャイムやファックスの着信音などさまざまな音を、教えてくれる。去年9月に生まれたばかりの娘・史帆ちゃんの泣き声も知らせてくれる。安心して暮らせるようになった東さん一家の日常を紹介する。2回シリーズの1回目。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-017	ろうを生きる難聴を生きる 聴導犬のいる暮らし(2) 自信をくれた 岸本淑子さんと“みかん”	NHK	15	2013/2/24
利用区分				
B-3	岸本淑子さんと夫の宗也さんは、ともに耳が聞こえない。聴導犬「しん」とともに暮らしている。 最初の聴導犬「みかん」は、12年前に岸本家にやってきた。当時、淑子さんはたいへんな人見知りだったが、「みかん」と生活するようになって、家族が驚くほど変わっていった。自分に自信が持てるようになったのだ。「みかん」は、2012年7月に亡くなった。岸本さんが「みかん」とともに過ごした日々を振り返る。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-018	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013 雪辱を誓って ～男子サッカー～ 前編	NHK	15	2013/3/3
利用区分				
B-3	2013年7月26日～8月4日、ブルガリアのソフィアで、第22回夏季デフリンピックが開かれた。デフリンピックは、4年に1度開かれる、ろう者のスポーツの祭典だ。 金メダルを目指して練習に打ち込む男子サッカーのメンバー。代表候補合宿の様子や、日々の生活の中でトレーニングを重ねる選手の姿を追う。2回シリーズの1回目。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-019	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013 雪辱を誓って ～男子サッカー～ 後編	NHK	15	2013/3/10
利用区分				
B-3	前回のデフリンピックで12位と低迷した男子サッカー。チームはその悔しさを胸に練習を重ね、去年はアジア大会で初優勝した。今回の大会の派遣が決まれば、アジアチャンピオンとしてデフリンピックに挑むことになる。 2月に鹿児島で行われた代表候補合宿や、仕事をしながらサッカーに打ち込む代表候補選手の日常の姿を伝える。2回シリーズの2回目。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-020	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえる仲間と最高のダンスを 高木里華さん	NHK	15	2013/3/17
利用区分				
B-3	高木里華さんは、手話パフォーマー。38歳でOLを辞め、専門学校でダンスを学んだ。それまでにない、手話とダンスを融合させた表現をしたいと思ったからだ。以来10年間、もとの曲の歌詞を自然な手話に移し替える翻訳と、ダンスを取り入れたリズムカルな動きを追求してきた。 高木さんは、いま、聞こえる仲間とともに、手話パフォーマンスの公演をしている。聞こえない人と聞こえる人が助け合うことで、よりすばらしいパフォーマンスができると語る高木さんの思いと、ろう学校でのワークショップの様子を紹介する。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-021	ろうを生きる難聴を生きる 手話のすすめ 中途失聴した人へ 佐々木あやみさん	NHK	15	2013/3/24
利用区分				
B-3	佐々木あやみさんが聴力を失ったのは27歳のとき。子ども向けのショーで、司会と歌の仕事をするのが好きだった佐々木さんにとって大きなショックだった。しかし、「中途失聴者のための手話教室」にめぐり会い、通じる喜びを知って元気を取り戻した。 佐々木さんは、さまざまな人が気軽に手話を学んだり話せたりする場を作ろうと、「しゅわっとつばさ」という団体を立ち上げ、月1回の集まり「手話しゅわ～」を開いている。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-022	ろうを生きる難聴を生きる もっとループを ～よりよい聞こえのために～	NHK	15	2013/3/31
利用区分				
B-3	「ヒアリングループ（磁気誘導ループ）」は、補聴器や人工内耳に明瞭な音を送り込むためのしくみのひとつ。マイクでひろった音声をアンプで増幅し、輪にした電線に流す。海外では、ホールや駅などの公共施設をはじめ、タクシーの中などにも設置されているが、日本では、ほとんど普及していない。音楽会の会場にループを設置する試みなどを紹介しながら、ループ普及の活動を続ける東工大教授の中村健太郎さんに、ループの可能性について聞く。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-023	ろうを生きる難聴を生きる “進化する字幕”を ～要約筆記サークル「まごのて」～	NHK	15	2013/4/7
利用区分				
B-3	名古屋市の要約筆記等研究連絡会「まごのて」は、「名古屋難聴者・中途失聴者支援協会」と連携して、情報保障の取り組みを続けてきた。 そのモットーは「進化する字幕」。ユーザーの意見を聞き、情報保障をする「場」を広げ、やりかたを工夫してきた。たとえば、字幕付きプラネタリウム上映では、名古屋市科学館の学芸員の解説に合わせて字幕を出す、わかりやすい要約、読みやすい行数や字数、色、字を出す位置などを、工夫し、職員のアドリブにもリアルタイムで対応する。字幕付きプラネタリウム上映を中心に、「まごのて」のさまざまなチャレンジについて紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-024	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013 初参加！自転車競技	NHK	15	2013/4/14
利用区分				
B-3	ろう者のスポーツの祭典「デフリンピック」に初参加する自転車競技。自転車競技日本代表エースとして、チームをまとめる役割を期待されている得利（とくよし）雄介さんの日々の生活や日本代表候補者の合宿に密着。自転車競技チームの挑戦を紹介する。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-025	ろうを生きる難聴を生きる 夢はドラフト ～プロ野球独立リーグ 野呂大樹選手～ 前編	NHK	15	2013/4/28
利用区分				
B-3	野呂大樹選手は、プロ野球独立リーグ「新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ」の1番バッター。難聴の野呂選手の夢は、ドラフトに指名されてNPB（日本野球機構）入りをする。その夢に向けた挑戦を追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-026	ろうを生きる難聴を生きる 夢はドラフト ～プロ野球独立リーグ 野呂大樹選手～ 後編	NHK	15	2013/5/5
利用区分				
B-3	独立リーグ3年目を迎えた野呂選手の今期の目標は、ドラフトに指名されてNPB（日本野球機構）入りすること。彼の武器である俊足を生かした盗塁技術を磨くために、相手投手のくせを見抜いたり、ノートにつけるなどの研究を重ねている。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-027	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013 ふわっと高く舞い上がれ！～棒高跳び・竹花康太郎さん	NHK	15	2013/5/12
利用区分				
B-3	デフリンピックでメダルを期待されている、棒高跳びの竹花康太郎さん。前回大会は4位、去年の世界ろう者陸上の世界大会では銀メダルを獲得している。竹花さんは横須賀市立ろう学校の先生で、陸上部の監督も務めている。学校での練習の様子や、4月に行われた公式試合の様子を紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-028	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013 団体金メダルを目指して ～卓球女子・川崎瑞恵さん～	NHK	15	2013/5/19
利用区分				
B-3	デフリンピック卓球女子日本チームの新しいホープとして期待されている高校3年の川崎瑞恵選手。川崎さんは、埼玉県の普通高校、秋草学園高等学校に通っている。・毎日の学校でのハードな練習や、代表選手の強化合宿の様子を中心に、川崎選手の意気込みを紹介する。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-029	ろうを生きる難聴を生きる 補聴器の使いこなし術	NHK	15	2013/5/26
利用区分				
B-3	最近の補聴器の発達はめざましく、不快なハウリングや騒音などの特定の周波数の音の抑制が可能になっている。しかし、補聴器を自分仕様に調整するアフターケアが必要になる。これから補聴器を買おうとする初心者クラスに向けて、補聴器の使いこなし術を紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-030	ろうを生きる難聴を生きる モバイル型遠隔情報保障システムとは？	NHK	15	2013/6/2
利用区分				
B-3	モバイル型遠隔情報保障システムは、教室とパソコンの文字通訳をする情報保障者をスマートフォンでつなぐ。そして先生の声を遠隔地の通訳者が文字に起こして、インターネットを利用して教室にあるスマートフォンに表示する。教育現場での情報保障のあり方を変える可能性を持つこのシステムを紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-031	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013 めざせ二連覇 ～ハンマー投げ 森本真敏さん～	NHK	15	2013/6/9
利用区分				
B-3	ハンマー投げの森本真敏さんは、前回のデフリンピックにはじめて参加し、金メダルを獲得した。森本さんは、現在プロバスケットボールチームを運営する会社が立ち上げた財団法人に所属し、自らの記録を更新するために努力を続けている。普段の練習を通して、森本さんの思いを伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-032	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013 初のメダルを！ ～バスケットボール女子チーム～	NHK	15	2013/6/16
利用区分				
B-3	前々回のメルボルン大会に初出場を果たし、前回の台北大会では6位に終わったバスケットボール女子チーム。今回は初のメダルを目指して大会に臨む。代表合宿や選手の日常を追いながら、メダルを目指すバスケットボール女子チームを紹介する。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-033	ろうを生きる難聴を生きる 手話狂言の心を伝える ～日本ろう者劇団の海外公演・前編～	NHK	15	2013/6/23
利用区分				
B-3	日本ろう者劇団は、日本の伝統を伝える狂言をろう者が手話で演じる手話狂言に力を入れている。手話狂言を演じる廣川麻子さんを紹介し、これまでの海外公演でも「日本人の心を感じられた」と評判になっている手話狂言の魅力伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-034	ろうを生きる難聴を生きる 新たな表現を求めて ～日本ろう者劇団の海外公演・後編～	NHK	15	2013/6/30
利用区分				
B-3	言語の違いや、聞こえる聞こえないに関係なく、観客を楽しませることに力を入れてきた日本ろう者劇団。劇団員の砂田アトムさんは、手話でさまざまな演技をする「一人芝居」というパフォーマンスを演じる。彼の日常を紹介しながら、新たな表現を模索する劇団の姿を伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-035	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013 世界の頂点を目指せ 水泳-今村可奈さん・金持義和さん-	NHK	15	2013/7/7
利用区分				
B-3	デフリンピックでメダルが有望視されている2人の水泳のアスリートを取り上げる。大会初出場ながら、背泳ぎでろうの世界記録を狙う大阪体育大学2年の金持義和さんと、水泳チーム全体のキャプテンを務める今村可奈さん。2人の練習風景を追いながら、デフリンピックにかける思いを聞く。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-036	ろうを生きる難聴を生きる 障害者差別を解消するために ～第61回全国ろうあ者大会 in 山形～	NHK	15	2013/7/14
利用区分				
B-3	山形で開催された第61回全国ろうあ者大会。平成25年は、障害者総合支援法が施行され、さらに障害者差別解消法が国会で成立した。 障害者への差別をなくし権利を守るために、今後何が必要なのか。基調講演やパネルディスカッションの様態を伝える。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-037	ろうを生きる難聴を生きる よっしゃ！手話で笑わせたらか ～手話落語家・喜楽舎馬次郎の世界～	NHK	15	2013/7/21
利用区分				
B-3	4代目桂福團治の門下に42歳で入り、9年前に独立したろう者の遅咲きの芸人が喜楽舎馬次郎（きらくやうまじろう）さん。「手話の分からない人も身振りやしぐさで笑わせたい」と語る馬次郎さんの活動や芸を2回シリーズで伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-038	ろうを生きる難聴を生きる 喜楽舎馬次郎 ～手話落語の世界～	NHK	15	2013/7/28
利用区分				
B-3	手話落語家・喜楽舎馬次郎（きらくやうまじろう）さんを紹介するシリーズ2回目。馬次郎さんの芸は、小話や現代落語、古典落語など多岐にわたる。日々の努力から生み出された数多くの作品のうち、「凧（たこ）」と、古典落語「長短」の2作品をご紹介します。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-039	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック・メダリストに聞く～前編～	NHK	15	2013/9/1
利用区分				
B-3	デフリンピックの夏季大会に日本からは149人の選手が参加し、金メダル2個、銀メダル10個、銅メダル9個、あわせて21個のメダルを獲得した。今回から2回にわたって、デフリンピックのメダリストたちの活躍ぶりを紹介する。今回は、男子水泳の金持義和さんと茨隆太郎さんに話を伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2014-040	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック・メダリストに聞く～後編～	NHK	15	2013/9/8
利用区分				
B-3	デフリンピック夏季大会のメダリストたちを紹介する2回目。今回は、シングルスで金・ダブルスで銀・団体で銅メダルを獲得した上田萌選手をはじめとする卓球女子の4人の選手、そしてハンマー投げの森本真敏選手に話を伺う。			

D記録・報道

分類番号	作 品 名	制作など	分	放送年月日
DA2014-041	ろうを生きる難聴を生きる 災害に備える ～映画「生命のことづけ」から学ぶ～	NHK	15	2013/9/15
利用区分				
B-3	早瀬憲太郎監督の映画「生命のことづけ ー死亡率2倍 障害のある人たちの3・11ー」では、東日本大震災での障害者の死亡率が住民全体の死亡率と比べると2倍だった事実が語られている。早瀬監督と日本障害フォーラム・藤井克徳さんとの対談を通して、災害時に生きのびるためにはどうしたらよいかを考える。			

分類番号	作 品 名	制作など	分	放送年月日
DA2014-042	ろうを生きる難聴を生きる 災害に備える ～情報を得るために～	NHK	15	2013/9/22
利用区分				
B-3	東日本大震災では、聴覚障害者の防災において、さまざまな課題が浮き彫りになった。 その一つとして、緊急情報が聴覚障害者に十分に伝わらなかったことが挙げられる。 「みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター」（みみサボみやぎ）の活動を通して、災害時の情報入手について考える。			

記録・報道/人間関係 (DD)

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2011-001	あの日 昭和20年の記憶 昭和20年8月1日～8月7日	NHK	50	2010/8/14
利用区分				
B-3	太平洋戦争末期の昭和20年8月1日から8月7日。当時の様子や思い出を著名人に語ってもらうとともに、その日の出来事の新聞記事を紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2011-002	あの日 昭和20年の記憶 昭和20年8月8日～8月14日	NHK	50	2010/8/14
利用区分				
B-3	太平洋戦争末期の昭和20年8月8日から8月14日。当時の様子や思い出を著名人に語ってもらうとともに、その日の出来事の新聞記事を紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2011-003	あの日 昭和20年の記憶 昭和20年8月15日～8月21日	NHK	50	2010/8/14
利用区分				
B-3	太平洋戦争末期の昭和20年8月15日から8月21日。当時の様子や思い出を著名人に語ってもらうとともに、その日の出来事の新聞記事を紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2011-004	あの日 昭和20年の記憶 昭和20年8月22日～8月28日	NHK	50	2010/8/14
利用区分				
B-3	太平洋戦争末期の昭和20年8月22日から8月28日。当時の様子や思い出を著名人に語ってもらうとともに、その日の出来事の新聞記事を紹介する。			

D記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2011-005	情熱大陸 シェフ・パティシエ 長江 桂子	毎日放送	25	2010/8/14
利用区分				
B-3	フランス・パリの一ツ星レストランでシェフ・パティシエを務める長江桂子（ながえけいこ）さん。お菓子の本場・パリでいま、最も注目を集めるパティシエだ。日本人らしい繊細さと周囲も驚く努力で、遅いスタート・女性・東洋人という3つのハンディを乗り越えた長江のデザートは2年前、有名三ツ星シェフであるミッシェル・トロワグロの目に留まり、「オテル・ド・ランカスター」でシェフ・パティシエに抜擢された。自由で斬新なアイデアが評判の店だ。なぜ彼女のデザートはフランス人を魅了するのか…。番組では秋の新作メニューの試作から完成までを取材、長江の発想法と同僚パティシエも舌を巻く高度な技術に迫る。（番組HP参照）			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2014-009	目撃者 f 亡き母と娘の約束 はなちゃんのみそ汁	福岡放送	27	2012/8/26
利用区分				
B-3	安武はなちゃんは、毎朝お父さんと一緒に台所に立ちおみそ汁を作る。はなちゃんのみそ汁は、今は亡きお母さんが教えてくれたもの。33歳で亡くなったお母さんは、一人娘にできるだけのことをしてあげたいと、幼い娘に包丁を握らせ料理を教えた。お母さんとの約束を守り続けるはなちゃんとお父さんの日常を描く。・ （字幕・手話付き 選択可能）手話表現者：河合祐三子			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2014-010	目撃者 f ボクたち山留生 ～自然の中で春夏秋冬～	福岡放送	27	2013/4/28
利用区分				
B-3	福岡県八女市星野村では山村留学生を受け入れている。期間は1年間。街の小学生が親もとを離れ、テレビもゲームもない生活を送る。・ 山間部の豊かな自然の中で学んだ山村留学生の子どもたちの1年間の記録。・ （字幕・手話付き 選択可能）手話表現者：野口岳史			